

1泊2日の防災学習

私立逗子開成中学校(逗子市)で、災害から身を守る方法を実践的に学ぶ「防災学習プログラム」が行われ、2年生272人が防災食の試食体験や災害時を想定した町歩きなどに取り組んだ。

1泊2日のプログラム

で、生徒たちは防災の専門家による講演を聴講。昼食は水を加えるだけで食べられる防災食のペースタを味わった。防災の知識を深める「ジュニア防災検定」を受検したり、学校の周辺を歩いて災害時に危険な場所を実際に確認したりも

逗子開成中 避難生活体験も

夜はゴミ袋と新聞紙を使った簡易掛け布団作りにも挑戦し、体育館の床に段ボールを敷いて宿泊して、避難生活を体験した。

参加した川瀬智也君は「防災食は思ったよりおいしかった」とし、「災害にあったときには学んだことを周りの人に伝えたい」と話していた。



ゴミ袋を使って布団を作る生徒たち